人の流れ■にぎわい■名駅と一体化…

栄の再開発 企業期待

久屋大通公園の再整備や、民間の再開発構想が動きだした名古屋・栄エリア。名古屋証券取引所で二〇一七年九月中間決算を発表した企業トップからは、中部最大の商業地、栄の活性化に期待する声が相次いだ。（「街が変わる」取材班）

街が変わる 動きだす栄

「これまでは人の流れが久屋大通公園で分断される印象があった。そこが一体的になればいい」。中部日本放送（名古屋市）の杉浦正樹社長は期待感を示す。

民間ノウハウを導入し、公園を再生させようと、名古屋市は先月末から事業者の公募を始めた。カフェなどを整備し、人の流れをつくり活性化につなげたい考え。杉浦社長は同社が昨年から、栄の路上でハロウィーンのイベントを開いていることに触れ「私たちも栄のにぎわいづくりを後押しできれば」と力を込めた。

再整備が計画されている名古屋・栄の久屋大通公園＝本社ヘリ「あさづる」から

「最近は買い物客が少なくなっている印象」と話すのは、三重交通グループホールディングス（津市）の小倉敏秀社長。東海地方で雑貨店の「東急ハンズ」を運営するが、その一号店が一九八六年に開店した「ANNEX店」だ。小倉社長は「思い入れのある店。栄が活性化する再開発に大いに期待したい」と語った。

名古屋駅前で高層ビルの建設ラッシュが一段落し、再開発の波は伏見や栄エリアに広がりつつある。伏見に九月、複合施設「テラッセ納屋橋」をオープンさせた東陽倉庫（名古屋市）の武藤正春社長は「納屋橋のある伏見エリアは名駅と栄の結節点。両方が発展し、にぎわいをもたらすことが重要」と訴えた。

名駅で大規模な再開発を計画する名古屋鉄道（同）の安藤隆司社長も「名駅の一点だけが華やかになっても、長い目で見れば良くない」と指摘。「栄と名駅それぞれが個性を出しながら、いい地域になっていくのは大歓迎だ」と強調した。

栄に本社がある徳倉建設の徳倉正晴社長は、十日の決算会見で老舗百貨店、丸栄などの再開発構想を挙げ「良い影響を受けると思う。名駅から栄までが一体化する流れができてほしい」と述べた。同じく栄に本店のある名古屋銀行の藤原一朗頭取も、再開発に関する新たな資金需要を見込んで、「地元の金融機関として積極的にお手伝いしていきたい」と語った。

排水溝とブロック

雑草退治 人気グングン

特殊形状で防草

道路に雑草が生えるのを防げる中部地方発のアイデア製品が、本年度の「グッドデザイン賞ベスト100」に選ばれた。草の成長をストップさせる特殊な形状をした鉄製排水溝やコンクリート製ブロックで、除草作業をする必要がなく、道路の維持管理費を抑えられるとあって、売れ行きを伸ばしている。（鈴木太郎）

愛知、三重企業 グッドデザイン賞

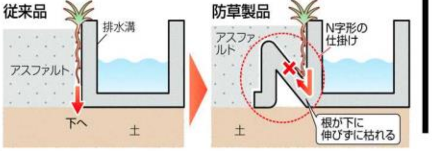
道路に雑草が生えるのを防ぐ鉄製排水溝（手前）とコンクリート製ブロック（奥）＝愛知県豊田市で

草の成長を止めるために、植物の茎が上へ、根が下へそれぞれ伸びる性質を利用。茎や根は通常、道路のアスファルトと排水溝の隙間に沿って成長することから、排水溝の一部をN字形にする仕掛けを採用。

例えば、地上から下に伸びようとする根は、N字形の部分にはばまれて、先端が上向きになる。上を向いた根は成長ホルモンのバランスが崩れることにより成長が止まり、枯れるという。

この技術を活用し、矢野コンクリート工業（愛知県豊田市）が二〇〇四年、歩道と車道の境界に設置するコンクリート製ブロックを開発。同社など二十五社で一二年に「全国防草ブロック工業会」を設立した。側溝のふたなどを手掛ける石田鉄工（三重県木曽岬町）も一四年、この技術を使って鉄製排水溝「防草エレファンドレン」を発売した。

工業会には現在、四十七社が加盟しており、関連製品は中部を中心に全国で導入が進む。昨年度の売上高は前年から倍増し、二億円を突破した。工業会会長を務める矢野コンクリート工業の矢野明正社長（七〇）は「除草コストを減らせるインフラとして、この製品をさらに広げたい」と話した。



2017年9月中間決算

製造業など 好業績

発表ピーク

名古屋証券取引所に上場する企業の二〇一七年九月中間決算の発表が十日、ピークを迎えた。この日は名証一部、二部に上場する二十四社が発表。このうち製造業などの十四社が増収増益となり、国内外の堅調な景気を背景として企業業績の好調ぶりが目立った。

決算発表は取引終了後の午後三時以降に集中。記者会見に臨む企業トップのほか、報道機関向けに決算資料をテーブルに置く担当者らでフロアは混雑した。

名証によると、九月中間決算の上場企業は二百十九社。このうち百六十社が名証で発表を予定しており十日までに84%に当たる百三十四社が発表を済ませた。

決算短信などの資料が並ぶ名古屋証券取引所の記者クラブ＝名古屋市中区で

主力貨物増え増収増益

【名港海運】（名古屋市）取扱量の7割を占める自動車関連の貨物が増え、売上高は8・3%増の311億円。純利益は5・2%増の17億円と増収増益だった。

民間受注が堅調で増収

【徳倉建設】（名古屋市）公共工事が減ったものの、首都圏でマンションや工場などの受注が堅調で、売上高は2・8%増の203億円。九州建設の子会社化に伴い、20億円の特別利益が出て、純利益は10倍の21億円と過去最高だった。

半導体関連好調で増収

【竹田印刷】（名古屋市）自動車やスマートフォン用の半導体関連が好調。昨年、半導体関連メーカーを子会社化した効果もあり、売上高は7・3%増の174億円、純利益は56・3%増の2億円と増収増益だった。

中国で伸び売上高最高

【中央可鍛工業】（名古屋市）中国で建設機械やロボット向けの部品販売が伸び、売上高は18・9%増の125億円で過去最高を更新した。増収効果に加え、昨年の熊本地震で被災した現地工場の復旧費用がなくなった影響で、純利益は23倍の5億円だった。

分譲マンションが好調

【エムジーホーム】（名古屋市）低金利で分譲マンションが好調。上期に完成物件が集中したこともあり売上高は91・9%増の50億円、純利益は6倍の3億円とともに過去最高だった。

原材料高騰で連続赤字

【カネソウ】（三重県朝日町）ステンレスなどの原材料価格が高騰し、純損益は1300万円の赤字となり、2期連続の赤字だった。建設需要が旺盛な首都圏を中心に、雨水排水用の商品などが伸び、売上高は3・6%増の33億円。

決算ひと言

次世代自動車のビジネスを拡大

「われわれは自動車産業では新参者だが、電気自動車（EV）や自動運転の波に乗ってビジネスを広げたい」と話すのは、電子部品を手掛ける北川工業（愛知県稲沢市）社長の北川清登（きよと）さん（五七）。

電子部品をつなぐ配線から出る電磁波を防ぎ、周辺機器に影響を与えないようにする部品が主力。「クルマの電子化」が進んで需要が伸び、今や国内売り上げの四分の一を占める。強い電磁波が出るモーターを使う「EVシフト」も進むため、電磁波を防ぐ部品の販売増につなげたい考えだ。

純利益は67・8%増の四億円。通期の業績予想を上方修正し、純利益を当初予想の一・五倍の七億円とした。「自動車以外に工場の省力化を支えるロボットなどでも需要が高まっている。新しい技術に積極的に参入したい」と意気込む。

セイノー売上高 過去最高

運送好調、値上げも寄与

セイノーホールディングス（岐阜県大垣市）が十日発表した二〇一七年九月中間連結決算は、好景気を背景に主力の運送事業で貨物量が増え、売上高は前年同期比5・2%増の二千九百二億円と六年連続で過去最高だった。純利益は4・5%増の八十八億円で、三年連続の最高益となった。

田口義隆社長は「輸送量が増えただけでなく、低く抑えていた運賃の適正化も寄与した」と説明。企業間取引が主体の同社は昨年から、本格的に顧客と運賃の値上げ交渉を進めていることも好業績につながった。

また物流業界の人手不足について「計画を上回る人数を採用できているため、現状ではひっ迫感はない」と指摘。人手不足で営業を続けられない物流会社も出てくるとみて「業界内で事業承継や事業譲渡が頻繁に起こるようになるのではないか。この状況を追い風にしていきたい」と語った。

一八年三月期の業績予想も上方修正。売上高は当初予想比0・9%増の五千八百七十億円、純利益は4・5%増の百八十五億円とした。

トーカンは売上高13%減

9月期連結決算

食品卸のトーカン（名古屋市）が十日発表した二〇一七年九月期連結決算は、主要取引先だったサークルKサンクスがファミリーマートに統合された影響で、コンビニ向けの食品卸売り事業が落ち込み、売上高は前期比13・2%減の千四百七十四億円、純利益は74・1%減の三億円と減収減益だった。

ツノダにTOB実施へ

投資ファンド子会社 全株取得目指す

国内の投資ファンドが出資して設立した子会社「TNDホールディングス」（東京）は十日、不動産賃貸業で名証二部上場のツノダ（愛知県小牧市）に対し、株式公開買い付け（TOB）を実施すると発表した。ツノダも賛同を表明しており、全株の取得を目指す。

ツノダは一九二六年創業で祖業は自転車製造だが、近年は賃貸マンション経営などに転換した。TNDはツノダが愛知県内に持つ不動産の価値が高く、事業の成長が見込めると判断した。

TOBは十三日から十二月二十五日まで実施する。買い付け価格は一株当たり一万三千九百五十円。ツノダの九日終値四千五百円の約三倍に当たる。投資額は五十五億円を見込む。

これを受け、名証は十日、ツノダを監理銘柄に指定した。TOBが成立すればツノダは上場廃止となる。

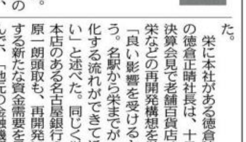
ツノダの二〇一七年六月期決算（単独）は売上高が前年同期比6・8%減の四億円、純利益は16%増の一億円。

電通、米テスラ 初出展

メッセナゴヤ 2017

ポートメッセなごや（名古屋市港区）で十一日まで開かれている異業種交流展示会「メッセナゴヤ2017」。今年で十二回を数えるが、年々と規模が大きくなり、広告代理店の電通や、米シリコンバレーを拠点とする電気自動車（EV）メーカーのテスラも初めて出展した。

電通中部支社は「地域に根ざした事業を多くの人に知ってもらいたい」としてメッセナゴヤに初参加。カフェをイメージしたブースでは、同社が支援したスポーツイベントの写真や、地元メーカーと共同開発した商品などを展示している。



カフェをイメージした電通の出展ブース＝名古屋市港区のポートメッセなごやで

岡本達也・顧客ビジネス局次長は「さまざまな企業から、気軽に声を掛けていただいている」と手応えを感じていた。

六月に名古屋市内に直営店をオープンしたテスラ日本法人も「店舗と車を近県の人たちにも知ってもらいたい」と初めて出展した。スポーツタイプ多目的車（SUV）の「モデルX」を展示し、多くの来場者が車に乗ったり、ハンドルを握ったりしていた。

重さ18㌔、時速30㌔

軽量で折り畳める電動ミニバイク「ブレイズスマートEV」＝名古屋市中川区のブレイズで

畳める電動ミニバイク

ブレイズ

自動車販売のブレイズ（名古屋市）は、自社開発した軽量で折り畳める電動ミニバイク「ブレイズスマートEV」を発売した。自動車販売の傍ら、軽ワゴン車をベースにしたキャンピングカーや、排気量50ccのアウトドア向け小型車を独自開発。電動ミニバイクは三つ目の自社製品となる。

リチウムイオン電池を搭載した完全電動式で、時速30㌔での走行が可能。家庭用電源で充電でき、3時間半の充電で約30㌔走れる。車体の重さは18㌔。折り畳んで車のトランクなどに収納できる。色は黒、白、カーキ、ワインレッドの4種類。店頭やインターネットで購入できる。価格は12万8000円（税別）。

市川秀幸社長(37)は「通勤や通学、買い物などに気軽に使ってほしい」と話す。年1万台の販売を目指す。

YH商事が特別清算へ

負債約50億円

帝国データバンク名古屋支店は十日、岐阜県の食肉加工販売大手で、経営再建に伴い事業を新会社に譲渡したYH商事（旧吉田ハム、東京）が十月三十日、東京地裁から特別清算の開始決定を受けたと発表した。負債総額は約五十億円。事業を引き継いだ新会社の吉田ハム（岐阜県大垣市）は通常通り営業している。

旧吉田ハムは一九三五年創業。岐阜県を代表する牛肉ブランド「飛騨牛」のイメージ確立のために八四年に商標登録し、名付け親として知られる。売上高は直近のピークの二〇〇二年一月期に二百六十三億円あったが、大手スーパーが食肉卸に参入し、価格競争が激化。一六年一月期の売上高は百二十八億円に落ち込み、赤字経営が続いていた。

経営再建のためにJA全農ミートフーズ（東京）の出資で同名の新会社を設立し、一六年八月に事業を新会社に譲渡した。商号をYH商事に変更し、清算手続きを進めていた。

大和ハウスなど物流施設を着工

桑名、東海最大級

大和ハウス工業（大阪市）と東急不動産（東京）などは十日、東海地方で最大級となる物流施設を三重県桑名市で着工した。二〇一九年春に完成予定。

東名阪自動車道の桑名インターチェンジ（IC）、桑名東ICからそれぞれ車で十分の場所に位置し、約七万平方㍍の敷地に地上六階建て、延べ床面積十五万八千平方㍍の施設を建設する。二十区画に分かれ、一区画（四千六百平方㍍）から利用可能。一フロア（二万六千平方㍍）を一括利用することもできる。総事業費は二百二十億円。

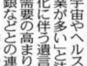
★スバル下請け愛知が2位

帝国データバンクは十日、新車の無資格検査をしていたSUBARU（スバル）の東海三県の下請け企業が千二十九社に上ると発表した。愛知県は八百十二社で、二千百十九社の東京に次いで全国で二番目に多かった。岐阜県は百七十六社で十二位、三重県は四十一社で二十五位だった。

年商の規模別にみると、一億円未満が53・5%と半数を占めた。中部地方のほかの県は、静岡（二百四十六社）、長野（百七十七社）、滋賀（四十一社）、福井（三十九社）の順だった。

回遊録

資産運用ニーズ 信託で応えたい



「名古屋は一九四〇年の出店以来、長い歴史のある極めて重要な地域。幅広い信託機能を生かして資産運用・管理ニーズに応えたい」と話すのは、三井住友信託銀行社長の橋本勝さん（六〇）。四月に就任し先月、就任披露パーティーを名古屋市内で開いた。

東海三県（愛知、岐阜、三重）で、店舗数は十一、預かり資産は法人・個人合わせて三兆一千五百億円。「自動車産業に加え、航空宇宙やヘルスケアなど成長が期待される産業が多い」と法人取引の拡大を見込む。高齢化に伴う遺言信託や成年後見支援信託への需要の高まりも期待する。

地銀などとの連携にも積極的。「不動産仲介やコンサル機能なども提供して地方創生に協力したい」と語った。

名古屋金属卸相場 10日

（単位＝㌧・円）

品目	価格
異形棒鋼（19㍉）	60000
等辺山形鋼（6×50×50㍉）	77000
H形鋼（5.5×8×200×100㍉）	77000
厚板（12㍉×1.515×3.030㍍）	77000
薄板（熱延1.6㍉）	77000
鉄クズ（H2）	29020
電気銅（99.96%）	810000
電気亜鉛（99.99%）	415000
電気鉛（99.99%）	343000
スズ（99.99%）	2410000
アルミ新塊（99.7%）	285000

地域包括ケア普及イベント
未来へ向かうシニアのチャレンジを応援します
～好きを見つけて　自分を活かして～
かがやけ★シニア応援フェスタ 未来へ
浅尾美和さんを迎えての楽しいトークショー！
◎司会／つボイノリオさん
来て！見て！挑戦！
好きなこと、やりたいことに出会える！新しい人生に挑戦！
ステージ、ブースで楽しいプログラムが盛り沢山！
◆開催日時／2017年11月18日（土）10:00～17:00
◆会　　場／愛知県産業労働センター「ウインクあいち」8階展示場
〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅4丁目4-38
◆入 場 料／無　料（事前申込不要）
◆主　　催／愛知県
かがやけシニア応援フェスタ 未来へ　検索
愛知県